


資料4 - 4

# 自動車リサイクル法 の運営状況について

2008年10月22日

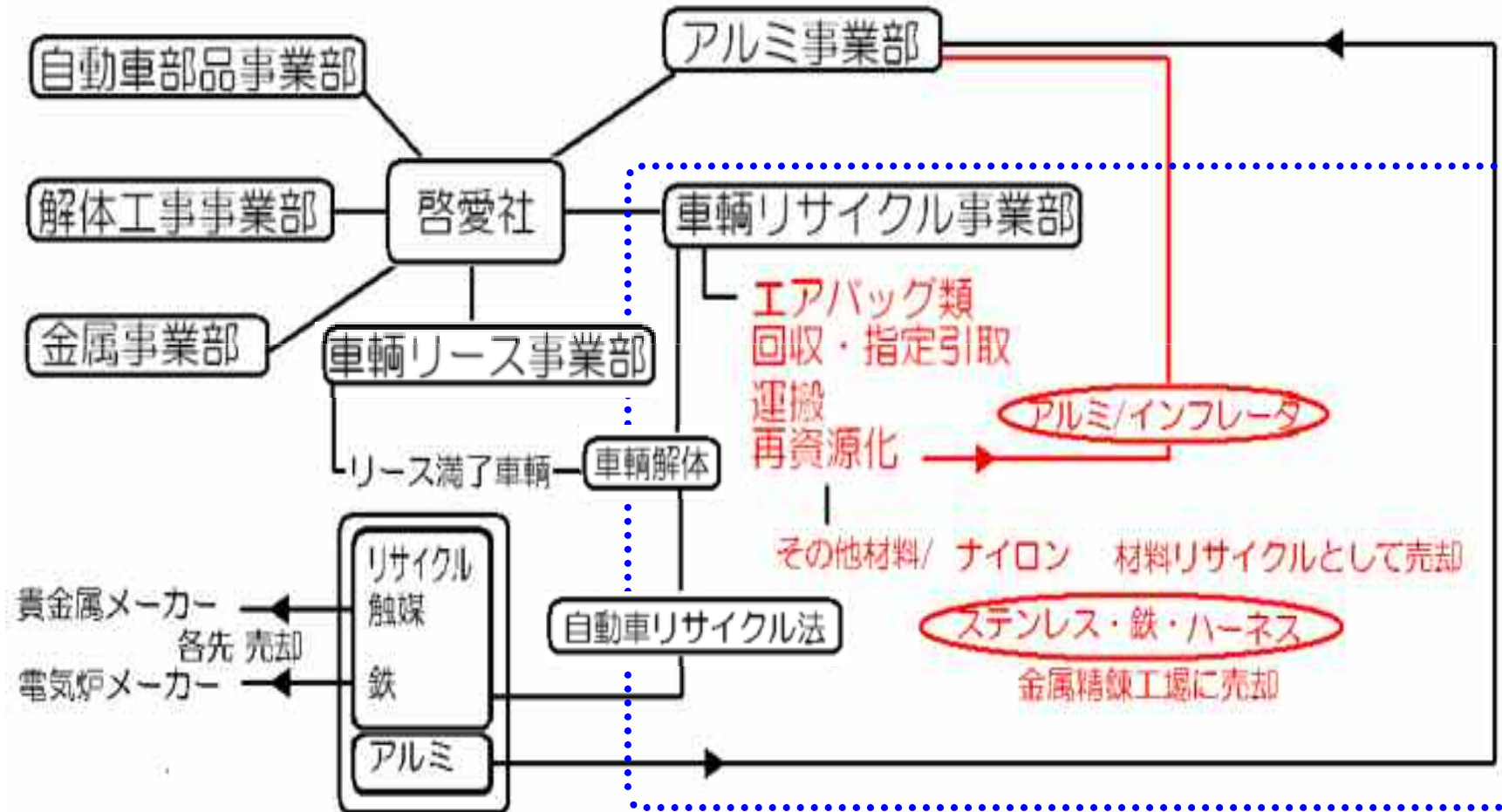
株式会社 啓愛社



# 会社 概要

- 社名 : 株式会社 啓愛社
- 本店 : 東京都北区岩淵町24番11号
- 本社 : 東京都北区岩淵町38番23号
- 資本金 : 1, 905百万円
- 連結売上高 : 539億円 (19年度3月)
- 従業員数 : 600名
- 6事業部制 : アルミ事業部/解体工事事業部  
金属事業部/車輛リース事業部  
自動車部品事業部  
車輛リサイクル事業部

# 事業形態



# 車輛リース事業部

## 社有車をリースにすると、財務・労務面でさまざまなメリットが享受できます

クルマは、「所有する」からシステムを「利用する」へ。シフトチェンジされてきた経営思想。日本では1986年にカーリースが導入されましたが、急激な普及の一途をたどり、2003年3月には267万台にも及びています(国土交通省調査)。いまではほとんどの企業がクルマのみならず、オフィス用品から生産設備まで、投資対象にリースを利用しています。多くの企業がカーリースを導入したのは、車両管理業務などをアウトソーシングすることによって、財務面、労務面で多くのメリットがあるからです。

### 車種リース

企業が、事業活動のために、新車は中古車よりも好む傾向があります。中古車は劣化するにつれて、購入価格の低下を伴って品質的にも劣化にも劣化が伴ってきます。[カーリース]なら、これらの煩わしい問題を全て代行し、優良の新車オプションにもカーリースが対応いたします。もちろん、マイカーとしてご利用いただける方も可能です。



### 経済的メリット

- 最新車購入に多額の現金が不要です。クルマを直接購入する場合に比べ、リースは少額の手付金、もちろんローンも総額よりダウンで可能です。
- リース料は毎月一定です。リース期間中のリース料は、物価の上昇や経済変動に関わりなく一定です。
- リース料は経費で処理できます。毎月のリース料は、必要経費として処理することができます。支出削減にも役立ちます。当然の如く優待が可能です。

### 機能的メリット

- 設備の手配はすべてお任せください。リース車種にこだわらず、中古車もリースがまわりますので、お客様に合った設備は対応いたします。
- 車両管理や修理もワンストップ。社名・店舗の所在地、営業時間と車種、お客様の予定などの情報を提供させていただきます。
- 24時間の車検でも対応いたします。事故対応、修理の場など代行します。もちろんリース料は各種保険に入会なので安心。(※社による保険料の差)

### リースタイプの選べるリース方式

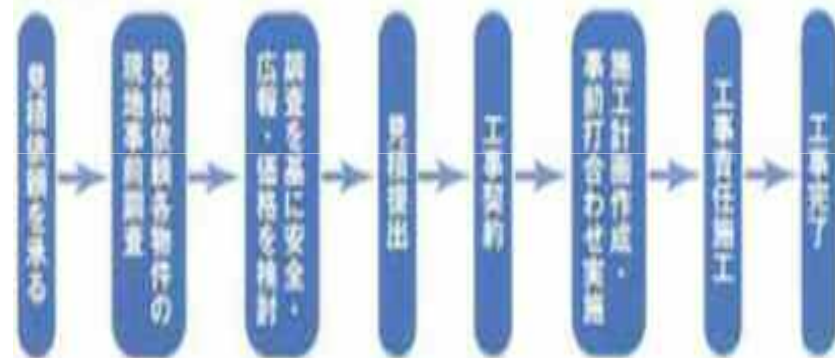
- フライアンスリース  
リースするのだからとだけです。新車の車種、車種のほとんどがお客様の負担するシステムです。
- メンテナンスリース  
車両管理、修繕に関する費用の一切を当社が負担するシステムです。新車カーリースと違い、途中で中古車、フォークリフトに切り替えてこのメンテナンスリースも可能です。

車種	リース	メンテナンス	リース
乗用車	乗用車	乗用車	乗用車
トラック	トラック	トラック	トラック
バス	バス	バス	バス
フォークリフト	フォークリフト	フォークリフト	フォークリフト
その他	その他	その他	その他

# 解体工事事業部

明確な責任施工体制のもと、  
経験豊富な自社専門技術者が責任もって工事にあたります。

## 工事フロー



# 金属事業部

## 金属スクラップは、資源循環型社会のリーダーです

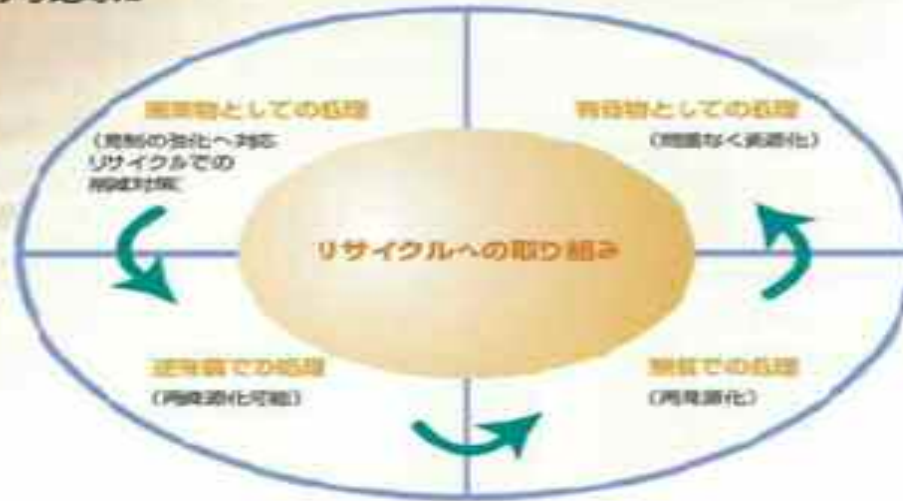
私たちの周りにはさまざまな鉄鋼製品があります。常に生まれ変わり続ける鉄を資源とし、お客様のニーズに応え製鋼工程での新たな命を吹き込む為のお手伝いをしています。

建物解体工事・加工メーカー発生端材・製鋼屑・非鉄金属も資源リサイクルという観点から地球に優しいリサイクルを推進しています。

不要物の資源化は、循環型社会の育成に必要不可欠です。

企業活動を行うことで、どうしても不要物が発生します。この不要物を廃棄物にせず「資源化」することで、トータルコストの削減とゼロエミッション達成の手段としてチャレンジしております。まず現状を教えてください。最適なアイデアをご提供致します。

逆ねじ活動の推進(現状の見直しと改善対策の実施)



# アルミ事業部

アルミニウムは、酸化皮膜を形成する為酸化しにくい特性があり、何回もリサイクルする事が可能です。

アルミニウムをリサイクルする事は、循環型社会の構築を目指している中で大変重要な役割を担っていると共に環境負荷の低減にも役立っています。

啓愛社では、特殊な設備と高度な技術を導入し、信頼と満足していただける、製品を提供しております。



# 自動車部品事業部

中厚の厚板り物からブレーキブースターの様な寸法精度の要求される製品まで、幅広いニーズにお応えします。



従来のCAD/CAM/CAE/CPVシステムによる検証(組立)では設計段階でエラーに基づく治具・実験・試作データの重複作業に費やす時間を削減し、開発期間を短縮させることにより、お客様の期待に応えることができます。



プレスから溶接、組立まで、機械加工、カネオン法採用まで一貫生産を行っています。



製鋼プレスライン



トランスフォーマープレスライン



コイルによる組み立て作業の自動化ライン



ワンポイントによる組立作業の自動化ライン

## 製品



各種溶接部品



ブレイクアウット



ハイブリッド車の燃費改善用



付加価値を高める部品



ブレーキブースター用部品



サスペンションアサメット



ブレーキペダル用部品



自動車用電子制御システム  
の電子制御システム  
の電子制御システム

## KI USA



自動車用電子制御システム



ブレーキペダル用部品

## 製品の一例



# 車輻リサイクル事業部



KEIAISHA CO., LTD

# エアバッグ類の再資源化に係る弊社の変遷

**1997年**

**「使用済み自動車リサイクル・イニシアティブ」策定**

使用済み自動車のリサイクル率向上と再利用しやすい  
設計・製造への取り組み

**1999年10月**

**(社)日本自動車工業会による**

**「エアバッグ・インフレーター回収・処理システム」参画**

未作動インフレーター回収・処理の自主取り組み

**2002年**

**「自動車リサイクル法」制定**

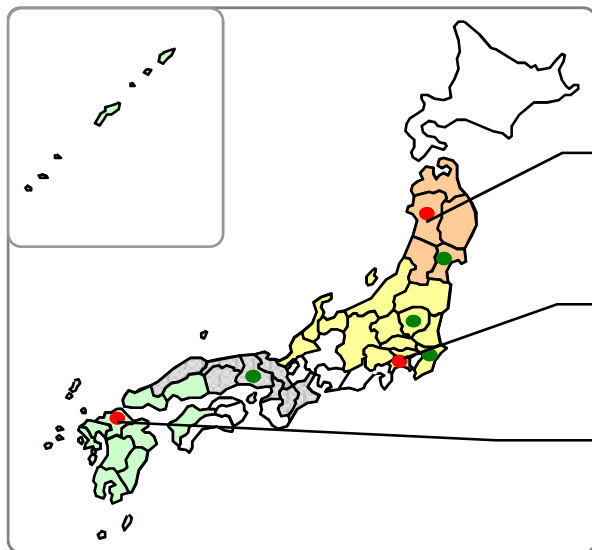
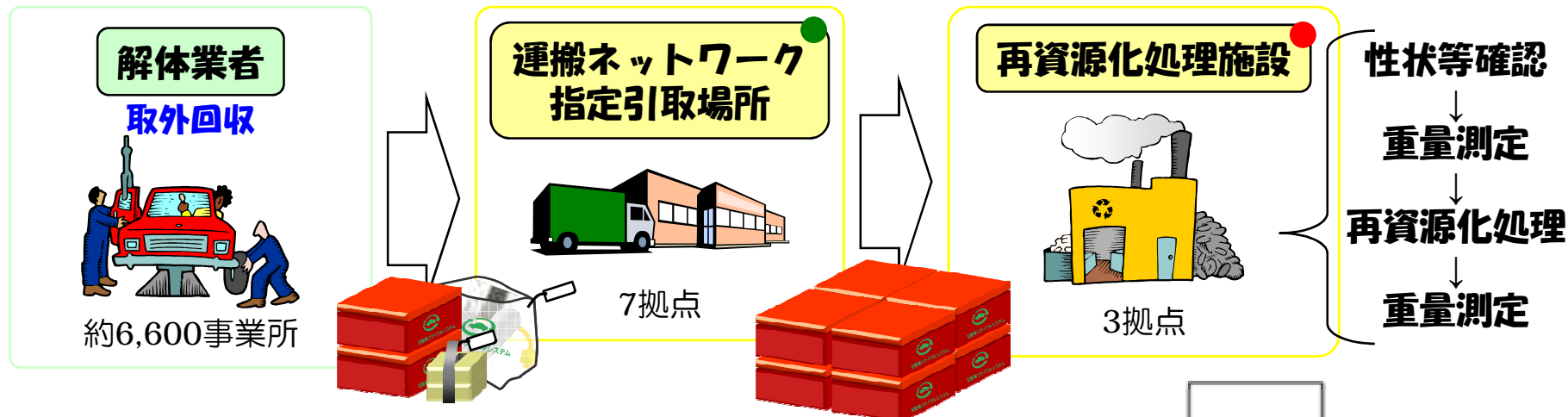
**2005年1月**

**同 本格施行**

自動車メーカー等との委託契約に基づき  
再資源化施設として稼働

併せて、運搬ネットワーク・指定引取場所としても稼働

# エアバッグ類の処理体制



秋田工場  
(5県)

金沢リサイクル工場  
(1都13県)

九州リサイクル工場  
(11県)

アルミ・ハーネス  
ステンレス・鉄  
↓  
**売却**  
↓  
金属精錬工場

すべて売却することで  
残渣は発生しない

# エアバッグ類再資源化施設

## 〔施設概要〕

- 施設所在 : 秋田工場（秋田県湯沢市）  
金沢リサイクル工場（神奈川県横浜市）  
九州リサイクル工場（福岡県京都郡）
- 処理方式 : 庫内通電・衝撃方式  
専用設計の庫内にインフレーター等を設置し、  
直接通電・衝撃を与え作動
- 処理能力 : 最大 10万個/基
- 設置基数 : 各工場に1基ずつ設置



# 再資源化業務における取組み


- ・ 環境面に配慮し集塵機【煙・匂い】を設置



# 再資源化処理実績

事業所名	2004年度※		2005年度		2006年度		2007年度	
	台数	個数	台数	個数	台数	個数	台数	個数
秋田工場	163	297	3,656	6,143	4,447	7,524	7,475	13,612
金沢 リサイクル 工場	524	829	10,691	16,329	18,806	30,640	26,589	43,879
九州 リサイクル 工場	99	154	3,854	5,323	5,333	7,497	7,584	10,449
合 計	786	1,280	18,201	27,795	28,586	45,661	41,648	67,940

※ 2004年度は、2005年1～3月の実績



# 再資源化事業における課題

- 解体業者におけるエアバッグ類の処理は「車上作動処理」が主流になりつつあり、今後の「取外回収」における再資源化処理体制をどのように維持していくか検討が必要と考える。
- 現在のエアバッグ類は約95%が金属で構成されており、それらは素材としてほぼ100%再利用されている。また、「車上作動処理」においては解体自動車とともに破砕処理されることからエアバッグ類単体の再資源化重量の管理は割愛されている。従って、「取外回収」においても再資源化重量の管理を除外いただきたい。